

私立大学図書館協会 2014年度第2回東西合同役員会議事要録

日 時：2015年3月6日（金） 14時00分～16時53分

場 所：京都ガーデンパレス 2F「鞍馬」

出席者：名簿のとおり

議事に先立ち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。

議事進行は、立命館大学図書館長・平野仁彦が担当した。

〔報告事項〕

1. 協会会務報告（2014年8月～2015年2月）

会長校（立命館大学・武山）より配付資料（p.4～8）にもとづき、報告が行われた。

2. 東地区部会会務報告（2014年8月～2015年2月）

東地区部会長校（明治大学・菊池）より配付資料（p.9～11）にもとづき、部会報告が行われた。うち研究部に関しては、東地区部会研究部担当理事校（専修大学・齋藤）より配付資料（p.10～11）にもとづき、研究部報告が行われた。

3. 西地区部会会務報告（2014年8月～2015年2月）

西地区部会長校（愛知学院大学・足立）より配付資料（p.12～21）にもとづき、報告が行われた。

4. 委員会報告（2014年8月～2015年2月）

（1）協会賞審査委員会報告

協会賞審査委員会委員長（名古屋学院大学・矢澤）より配付資料（p.22）にもとづき、報告が行われた。

（2）研究助成委員会報告

研究助成委員会委員長（東洋大学・千葉）より配付資料（p.22）にもとづき、報告が行われた。

（3）国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員長（関西大学・金）より配付資料（p.22～24）にもとづき、報告が行われた。

（4）協会ホームページ委員会報告

協会ホームページ委員会委員長（立教大学・河村）より配付資料（p.24～26）にもとづき、報告が行われた。

5. 協会関連事項報告（2014年8月～2015年2月）

会長校（立命館大学・武山）より配付資料（p.27～28）および別添資料にもとづき、以下の（1）～（4）について報告が行われた。

- (1) 国公立大学図書館協力委員会
- (2) 国立国会図書館長との大学図書館長との懇談会
- (3) 日本図書館協会
- (4) 後援・共催

6. 協会役員校、委員会および協会関連団体委員

会長校（立命館大学・武山）より配付資料（p. 29～35）にもとづき、報告が行われた。第1回東西合同役員会以降の変更として、配付資料（p. 31）⑧これからの学術情報システム構築検討委員会と⑨研修のあり方に関するワーキング・グループが新たに追加された旨の説明が行われた。

7. 2015年度行事・会議予定

会長校（立命館大学・武山）より配付資料（p. 36）にもとづき、2015年度の行事予定等について報告が行われた。

[協議事項]

1. 2014年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込みについて

会長校（立命館大学・武山）より配付資料（p. 37～39）にもとづき、決算見込みについて説明ならびに提案が行われた。協議の結果、提案のとおり承認された。

2. 2015年度事業計画（案）

会長校（立命館大学・武山）より配付資料（p. 40～41）にもとづき、次期会長校（東洋大学）とともに作成した本事業計画（案）について、主旨説明ならびに提案が行われた。協議の結果、提案のとおり承認された。

3. 2015年度一般会計・特別会計予算（案）

会長校（立命館大学・武山）より配付資料（p. 42～44）にもとづき、2015年度一般会計ならびに特別会計に関する予算案について説明ならびに提案が行われた。

(1) 一般会計

【収入】2014年度実績より算出。

【支出】2014年度予算を基本に、以下の点について変更。

①運営費

「5. 委員会活動費」「6. 役員校活動費」について、現状および協議事項 8. で諮る内容を考慮し、委員会活動費を450千円減額。役員校活動費を1,000千円増額。

②事業費

「2. 協会賞費」について、2015年度の該当件数が2件であるため、100千円の増額、

「6. 国際図書館協力事業支援費」について、2015年度はシンポジウムを開催しないため1,000千円の減額。

「8. 協会HP更新サポート費」について、協会ホームページ委員会の体制変更（11名から4名に変更）にともない、これまで委員が行っていた作業を委託化するため、700千円の増額。

なお、「4. 会報刊行費」の備考欄は、予算の根拠となる2014年度実績の対象号を記載。

## (2) 特別会計

### ①研究助成特別会計

【収入】2014年度実績より算出。

【支出】採択決定後に助成金を計上。

### ②国際図書館協力特別会計

【収入】基金は、2014年度実績より算出。2015年度は、シンポジウムを開催しないため、国際図書館協力事業支援費と事業収入を減額。

【支出】「1. シンポジウム運営費」は、シンポジウムを開催しないため、予算計上を行わない。

「4. 海外派遣研修費」は、2015年度の海外派遣者が1名決定しており、750千円を計上。その他は2014年度と同額を計上。

### ③総会・研究大会特別会計 第76回(2015年度)

【収入】2014年度実績より算出。

【支出】当番校の準備予定による費目間での増減が生じているが、予算総額は2014年度予算と同額を計上。

上記の内容を確認し、協議の結果、提案のとおり承認された。

## 4. 第76回(2015年度)総会・研究大会について

当該総会・研究大会当番校(明治学院大学・鈴木)より配付資料(p.45~46)にもとづき、説明ならびに提案が行われた。協議の結果、提案のとおり承認された。

## 5. 2014年度協会賞について

協会賞審査委員会委員長(名古屋学院大学・矢澤)より配付資料(p.47~48)にもとづき、審査の結果と採択等理由について説明ならびに提案が行われた。若干の質疑応答の後、提案のとおり承認された。(3件中2件採択)

## 6. 2015年度研究助成について

研究助成委員会委員長(東洋大学・千葉)より配付資料(p.49~50)にもとづき、審査の結果と採択等理由について説明ならびに提案が行われた。

採択提案された2件について、若干の質疑があり、同委員長より、2014年度総会における研究助成規程改正を受け、今年度募集から、中小規模の大学図書館を支援するという点も視野に入れ、研究助成だけでなく事業助成という側面も対象とした採択審査を行ったこと、加盟図書館および加盟図書館員の活動に寄与できるよう期待しての採択としたことが説明された。

協議の結果、提案のとおり承認された。(3件中1件採択、1件条件付採択)

7. 研究助成の審査にあたっての研究助成委員会および東西合同役員会での申し合わせ事項の改正（案）について

研究助成委員会委員長（東洋大学・千葉）より配付資料（p. 51～52）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。若干の質疑応答の後、提案のとおり承認された。

8. 「役員校活動費」運用内規改正（案）、「委員会活動費」運用内規（案）

会長校（立命館大学・武山）より配付資料（p. 53～55）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。意見交換の結果、今次提案の役員校活動費や委員会活動費の他、各大学の財政が厳しくなる中、協会の会務に係わる出張費の負担についても検討する時期にきている。今回の提案は、その整理の第一段階である。出張費の問題は、次期会長校において、次年度 4 月の常任幹事会より検討を開始して頂くことが確認され、提案のとおり承認された。

9. ホームページ委員会関連事項

（1）関連要項・細則について

協会ホームページ委員会委員長（立教大学・河村）より配付資料（p. 56～63）にもとづき、2015 年度からの委員会体制の変更にもなう要項等の修正（案）の説明ならびに提案が行われた。協議の結果、提案のとおり承認された。

（2）2015 年度業務委託について

協会ホームページ委員会委員長（立教大学・河村）より配付資料（p. 64）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。東地区部会研究部担当理事校（専修大学・齋藤）より、東地区部会研究分科会のホームページ更新費用が、今回の業務委託に含まれているのかという質問があった。この件については、東地区部会予算か、あるいは協会全体の予算なのかが現段階では明確になっておらず、今回の予算では含まれていない、当該更新費用については、いずれから支出すべきか、今後の検討課題であるとの説明があった。協議の結果、提案のとおり承認された。

10. 国際図書館協力委員会関係要領改正について

（1）国際図書館協力シンポジウム実施要領改正（案）

国際図書館協力委員会委員長（関西大学・金）より配付資料（p. 65～66）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。若干の質疑応答があり、協議の結果、提案のとおり承認された。

（2）海外集合研修実施要領改正（案）

国際図書館協力委員会委員長（関西大学・金）より配付資料（p. 67～69）にもとづき、説明ならびに提案が行われた。種々意見交換が行われた後、会長校（立命館大学・平野）より、p. 69 の「海外集合研修実施要領改正（案）」第 3 条（4）「旅費その他」の文言について、「委員会が必要と認めた費用は協会側が負担とする」との提案文を「委員会が必要と認めた費用は、会長校と協議して協会側が負担する」と修正する旨の提案が行われた。協議の結果、修正提案のとおり承認された。

[懇談事項]

1. 2013年度 - 2014年度活動報告書について

最後に、会長校（立命館大学・平野）より、別添の活動報告書を次期体制において可能な限り活かし、活動して欲しい旨の発言があった。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

以上

<配付資料>

1. 「私立大学図書館協会 2014年度第2回東西合同役員会」 (p. 1～72)
2. (別添) 私立大学図書館協会 2013年度-2014年度活動報告書
3. (別添) 第77回国公私立大学図書館協力委員会資料